

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【公開番号】特開2004-216880(P2004-216880A)

【公開日】平成16年8月5日(2004.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-030

【出願番号】特願2003-420728(P2003-420728)

【国際特許分類第7版】

B 2 9 C 44/00

B 2 9 C 39/14

C 0 8 G 18/10

C 0 8 G 18/77

//(C 0 8 G 18/10

C 0 8 G 101:00 )

B 2 9 K 75:00

B 2 9 K 105:04

【F I】

B 2 9 C 67/22

B 2 9 C 39/14

C 0 8 G 18/10

C 0 8 G 18/77 Z

C 0 8 G 18/10

C 0 8 G 101:00

B 2 9 K 75:00

B 2 9 K 105:04

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月3日(2005.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

加熱溶融させた、1,000～10,000の範囲の数平均分子量(M<sub>n</sub>)を有し、分子末端にイソシアネート基を有するホットメルトウレタンプレポリマー(A)と、ジオール(B)とを混合させて得られた液状混合物を基材上にシート状に塗布し、得られたシート状の前記液状混合物に水蒸気を接触させて前記液状混合物を水発泡させるポリウレタン発泡体シートの製造方法であって、

前記ホットメルトウレタンプレポリマー(A)のイソシアネート基当量に対する、前記ジオール(B)の活性水素原子含有基当量の比[イソシアネート基当量/活性水素原子含有基当量]が、1.5～20.0の範囲であることを特徴とするポリウレタン発泡体シートの製造方法。

【請求項2】

加熱溶融させた、1,000～10,000の範囲の数平均分子量(M<sub>n</sub>)を有し、分子末端にイソシアネート基を有するホットメルトウレタンプレポリマー(A)と、ジオール(B)とを混合させて得られた液状混合物を、第一の離型性基材と第二の離型性基材の間に導入して連続的にシート状物を形成し、前記離型性基材の片面又は両面に水蒸気を接触さ

せて前記第一の離型性基材と前記第二の離型性基材に挟まれた前記シート状物を水発泡させるポリウレタン発泡体シートの製造方法であって、

前記ホットメルトウレタンプレポリマー(A)のイソシアネート基当量に対する、前記ジオール(B)の活性水素原子含有基当量の比[イソシアネート基当量/活性水素原子含有基当量]が、1.5~20.0の範囲であることを特徴とするポリウレタン発泡体シートの製造方法。

【請求項3】

加熱溶融させた、1,000~10,000の範囲の数平均分子量(Mn)を有し、分子末端にイソシアネート基を有するホットメルトウレタンプレポリマー(A)と、ジオール(B)とを混合させて得られた液状混合物を、第一の離型性基材と第二の離型性基材の間に導入して連続的にシート状物を形成し、前記第一の離型性基材と前記第二の離型性基材のいずれか一方を剥離して、前記シート状物に直接水蒸気を接触させて前記シート状物を水発泡させるポリウレタン発泡体シートの製造方法であって、

前記ホットメルトウレタンプレポリマー(A)のイソシアネート基当量に対する、前記ジオール(B)の活性水素原子含有基当量の比[イソシアネート基当量/活性水素原子含有基当量]が、1.5~20.0の範囲であることを特徴とするポリウレタン発泡体シートの製造方法。

【請求項4】

前記液状混合物が、前記加熱溶融させたホットメルトウレタンプレポリマー(A)、前記ジオール(B)と、さらにウレタン化触媒(C)を混合させて得られたものである請求項1ないし3の何れか一項に記載のポリウレタン発泡体シートの製造方法。

【請求項5】

前記ホットメルトウレタンプレポリマー(A)が、加水分解性アルコキシシリル基をも有するホットメルトウレタンプレポリマー(a-2)である、請求項1ないし3の何れか一項に記載のポリウレタン発泡体シートの製造方法。

【請求項6】

前記ホットメルトウレタンプレポリマー(A)におけるイソシアネート基含有量が0.5~10.0重量%の範囲である、請求項1ないし3の何れか一項に記載のポリウレタン発泡体シートの製造方法。

【請求項7】

前記ウレタンプレポリマー(A)が、100~100,000mPa·sの範囲のコーンプレート粘度計にて測定した125における溶融粘度を有する、請求項1ないし3の何れか一項に記載のポリウレタン発泡体シートの製造方法。

【請求項8】

加熱溶融させた、1,000~10,000の範囲の数平均分子量(Mn)を有し、分子末端にイソシアネート基を有するホットメルトウレタンプレポリマー(A)と、ジオール(B)とを混合させて得られた液状混合物を基材上にシート状に塗布し、得られたシート状の前記液状混合物に水蒸気を接触させて前記液状混合物を水発泡させて得られたポリウレタン発泡体シートに、第三の基材を貼り合わせる積層体シートの製造方法であって、

前記ホットメルトウレタンプレポリマー(A)のイソシアネート基当量に対する、前記ジオール(B)の活性水素原子含有基当量の比[イソシアネート基当量/活性水素原子含有基当量]が、1.5~20.0の範囲であることを特徴とする積層体シートの製造方法。

【請求項9】

加熱溶融させた、1,000~10,000の範囲の数平均分子量(Mn)を有し、分子末端にイソシアネート基を有するホットメルトウレタンプレポリマー(A)と、ジオール(B)とを混合させて得られた液状混合物を基材上にシート状に塗布し、得られたシート状の前記液状混合物に第三の基材を貼り合わせて得られた積層体に、水蒸気を接触させて前記液状混合物を水発泡させる積層体シートの製造方法であって、

前記ホットメルトウレタンプレポリマー(A)のイソシアネート基当量に対する、前記

ジオール ( B ) の活性水素原子含有基当量の比 [ イソシアネート基当量 / 活性水素原子含有基当量 ] が、 1 . 5 ~ 2 0 . 0 の範囲であることを特徴とする積層体シートの製造方法。

【請求項 1 0】

加熱溶融させた、 1 , 0 0 0 ~ 1 0 , 0 0 0 の範囲の数平均分子量 ( M n ) を有し、分子末端にイソシアネート基を有するホットメルトウレタンプレポリマー ( A ) と、ジオール ( B ) とを混合させて得られた液状混合物を、第一の離型性基材と第二の離型性基材の間に導入して連続的にシート状物を形成し、前記第一の離型性基材と前記第二の離型性基材のいずれか一方を剥離して、前記シート状物の剥離面及び / 又は剥離されずに残っている前記第一又は第二の離型性基材に水蒸気を接触させて、前記シート状物を水発泡させて得られたポリウレタン発泡体シートの前記第一又は第二の離型性基材を剥離した面に、第三の基材を貼り合わせる積層体シートの製造方法であって、

前記ホットメルトウレタンプレポリマー ( A ) のイソシアネート基当量に対する、前記ジオール ( B ) の活性水素原子含有基当量の比 [ イソシアネート基当量 / 活性水素原子含有基当量 ] が、 1 . 5 ~ 2 0 . 0 の範囲であることを特徴とする積層体シートの製造方法。

【請求項 1 1】

前記液状混合物が、前記加熱溶融させたホットメルトウレタンプレポリマー ( A ) 、前記ジオール ( B ) と、さらにウレタン化触媒 ( C ) を混合させて得られたものである請求項 8 ないし 1 0 の何れか一項に記載の積層体シートの製造方法。

【請求項 1 2】

前記ホットメルトウレタンプレポリマー ( A ) が、加水分解性アルコキシシリル基をも有するホットメルトウレタンプレポリマー ( a - 2 ) である、請求項 8 ないし 1 0 の何れか一項に記載の積層体シートの製造方法。

【請求項 1 3】

前記ホットメルトウレタンプレポリマー ( A ) におけるイソシアネート基含有量が 0 . 5 ~ 1 0 . 0 重量 % の範囲である、請求項 8 ないし 1 0 の何れか一項に記載の積層体シートの製造方法。